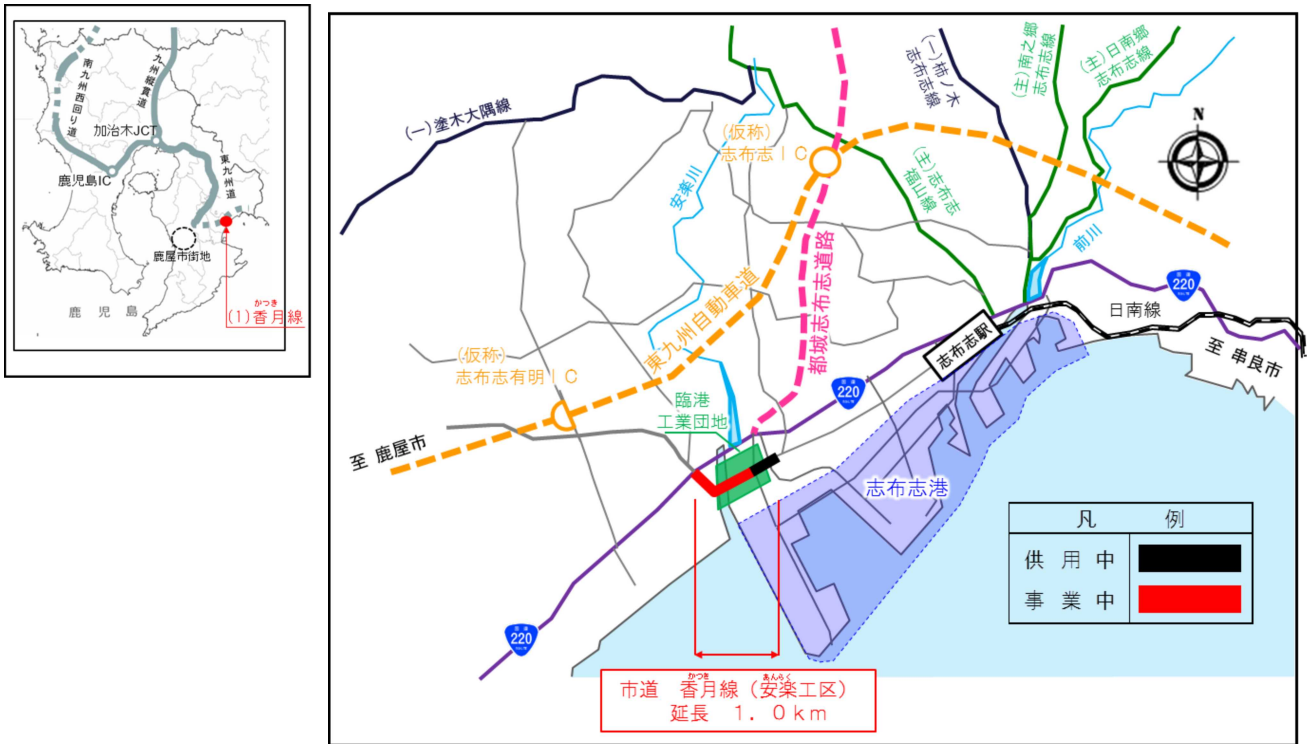


## 再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：野田 勝

事業名：（空港・港湾アクセス道路） 市道香月線・安楽工区	事業区分：地方道	事業主体：志布志市												
起終点：自：鹿児島県志布志市安楽 至：鹿児島県志布志市安楽	延長：1.0 km													
事業概要：1級市道香月線は、志布志市街地中心部に位置し、市街地と国道220号を結ぶ路線である。当該箇所（狭小区間）を整備することにより、重要港湾（国際バルク戦略港湾）である志布志港や工業団地の造成等の民間投資と連携し、成長基盤の強化が図られる。また、都城志布志道路や東九州自動車道のICへのアクセス向上、物流ネットワークの強化を図る。														
H27年度事業化	S9年度都市計画決定	H27年度用地着手												
全体事業費：約15億円	事業進捗率：約61%	供用済延長：0.25 km												
計画交通量：1,300台/日														
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C：(事業全体) 1.2</td> <td style="width: 40%;">総費用：(残事業)/事業全体 5.6/14.4 億円</td> <td style="width: 30%;">総便益：(残事業)/事業全体 14.52/16.62 億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 2.6</td> <td>事業費：5.2/14億円</td> <td>走行時間短縮便益：13.0/14.0 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：0.4/0.4億円</td> <td>走行経費減少便益：1.3/2.4 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益：0.22/0.22億円</td> </tr> </table>	B/C：(事業全体) 1.2	総費用：(残事業)/事業全体 5.6/14.4 億円	総便益：(残事業)/事業全体 14.52/16.62 億円	(残事業) 2.6	事業費：5.2/14億円	走行時間短縮便益：13.0/14.0 億円		維持管理費：0.4/0.4億円	走行経費減少便益：1.3/2.4 億円			交通事故減少便益：0.22/0.22億円	基準年：平成30年
B/C：(事業全体) 1.2	総費用：(残事業)/事業全体 5.6/14.4 億円	総便益：(残事業)/事業全体 14.52/16.62 億円												
(残事業) 2.6	事業費：5.2/14億円	走行時間短縮便益：13.0/14.0 億円												
	維持管理費：0.4/0.4億円	走行経費減少便益：1.3/2.4 億円												
		交通事故減少便益：0.22/0.22億円												
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.2~1.2(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.2~1.2(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.3(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.3(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.2~1.2(事業期間±20%)														
<b>事業の効果等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際バルク戦略港湾である志布志港へ向かう国道220号の交通量が分散し渋滞緩和につながる。</li> <li>・鹿児島県志布志市～鹿屋市間のアクセス性が向上し、交流・連携の促進を図る。</li> <li>・志布志港や志布志市臨海工業団地への物流ネットワークの強化が図られ、地域間交流の活性化にも寄与する。企業誘致の推進とともに、雇用機会の拡大に寄与する。</li> </ul>														
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・地元説明会等を実施し、周辺住民と合意形成を図っている。														
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める														
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・都城志布志道路（有明北IC～有明東IC）が供用されている。 ・周辺道路（臨港道路等）の整備が進み、順次供用されている。														
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率約86%、事業進捗率約61%														
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、橋梁上部工及び道路改良工を推進していく。														
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 今後も再生資材や現場発生土の有効活用を進め、工事コストの縮減に努めていく。														
<b>対応方針</b> ：事業継続														
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。														

# 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。